

平成12年5月25日
日 本 銀 行
情 報 サ ー ビ ス 局

「生活意識に関するアンケート調査」(第10回)の結果

(はじめに)

日本銀行では、政策・業務運営の参考とするため、本店や支店を通じた広報活動のなかで、国民各層の意見や要望を幅広く聴取するよう努めていますが、その1つの手法として、平成5年以降、全国20歳以上の男女個人4,000人を対象に「生活意識に関するアンケート調査」を実施しています。この調査は、日本銀行が四半期ごとに行っている「企業短期経済観測調査(短観)」のような統計指標としての調査ではなく、生活者の意識や行動を大まかに窺う一種の世論調査です。

(調査概要)

- ・調査実施期間...平成12年3月17日(金)~3月27日(月)
- ・調査対象...全国の20歳以上の男女個人
- ・標本数...4,000人(有効回答者数3,071人<有効回答率76.8%>)
- ・抽出方法...層化2段無作為抽出法
- ・調査方法...設問票によるアンケート調査(訪問留置法)

(調査結果の概要)

1. 足許の景況感(1年前対比)については、「悪くなっている」が減少し、D.I. (「良くなっている」 - 「悪くなっている」)は引続き改善(前回比+6.1%ポイント)。
また、1年後までの変化については、「変わらないと思う」との見方がなお全体の4分の3を占め、先行きに関するD.I. (「良くなっていると思う」 - 「悪くなっていると思う」)の改善は緩やか。

<景況感D.I.の推移(%)>

	8年3月 調査	9年3月 調査	10年3月 調査	10年11月 調査	11年3月 調査	11年9月 調査	今回調査
現在 (前回比)	-23.0	-30.2 (-7.2)	-70.5 (-40.3)	-77.8 (-7.3)	-51.5 (+26.3)	-35.9 (+15.6)	-29.8 (+6.1)
1年後の予想 (前回比)	-2.2	-24.8 (-22.6)	-21.6 (+3.2)	-20.1 (+1.5)	-1.3 (+18.8)	-1.4 (-0.1)	0.2 (+1.6)

2. 暮らし向き(1年前対比)については、「苦しくなってきた」がやや減少の一方、「ゆとりが出てきた」も微減。この結果、暮らし向きD.I. (「ゆとりが出てきた」 - 「苦しくなってきた」)はやや改善したものの、景況感D.I.に比べ、改善の足取りは鈍い。

<暮らし向きD.I.の推移(%)>

	10年3月 調査	10年11月 調査	11年3月 調査	11年9月 調査	今回調査
現在 (前回比)	-42.5	-49.4 (-6.9)	-42.2 (+7.2)	-42.9 (-0.7)	-41.1 (+1.8)

3. 収入(1年前対比)については、「減った」が減少、「変わらない」が増加し、収入D.I. (「増えた」 - 「減った」)は前回比やや改善。
1年後までの変化については、「変わらないと思う」が6割を占めているなど、生活者の慎重な見方が窺われる。

<収入D.I.の推移(%)>

	8年3月 調査	9年3月 調査	10年3月 調査	10年11月 調査	11年3月 調査	11年9月 調査	今回調査
現在 (前回比)	-11.9	-10.0 (+1.9)	-22.8 (-12.8)	-37.0 (-14.2)	-34.2 (+2.8)	-39.3 (-5.1)	-37.1 (+2.2)
1年後の予想 (前回比)		-7.6	-21.0 (-13.4)	-29.8 (-8.8)	-23.1 (+6.7)	-27.1 (-4.0)	-26.5 (+0.6)

4. 支出(1年前対比)については、「減らしている」が引続き4割強存在。支出D.I. (「増やしている」 - 「減らしている」)は前回比横這いと、景況感D.I.のような改善はみられていない。先行きについても慎重。景況感と支出の関係をみると、景気が「良くなっている」と回答した人においても、支出D.I.に目立った改善はみられていない。

<支出D.I.の推移(%)>

	8年3月 調査	9年3月 調査	10年3月 調査	10年11月 調査	11年3月 調査	11年9月 調査	今回調査
現在 (前回比)	-38.4	-16.7 (+21.7)	-34.7 (-18.0)	-36.0 (-1.3)	-35.8 (+0.2)	-35.4 (+0.4)	-35.4 (±0.0)
1年後の予想 (前回比)	-49.7	-38.6 (+11.1)	-40.9 (-2.3)	-43.6 (-2.7)	-41.3 (+2.3)	-37.8 (+3.5)	-38.5 (-0.7)

5. 預金保険制度を知っている人は、全体の7割近くまで増加。

以上

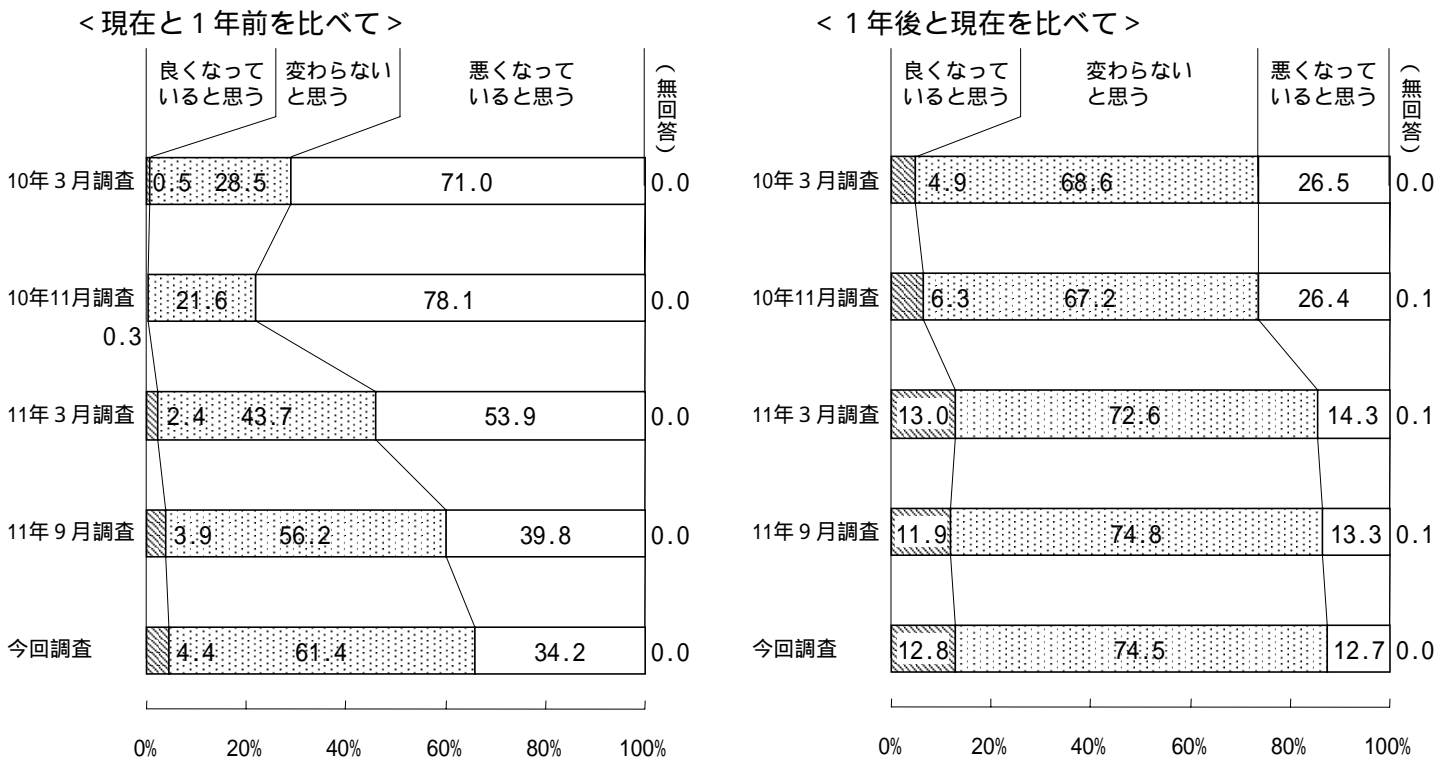
(個別結果)

〔 構成比は小数第2位四捨五入。このため、図表での構成比の合計が100にならないことがある。 〕

1. 景況感

足許の景況感(1年前対比)については、「悪くなっている」が減少し、D.I.(「良くなっている」 - 「悪くなっている」)は引続き改善(前回比+6.1%ポイント)
 また、1年後までの変化については、「変わらないと思う」との見方がなお全体の4分の3を占め、先行きに関するD.I.(「良くなっていると思う」 - 「悪くなっていると思う」)の改善は緩やか。

(図表1) 景況感(%)



< D.I.の推移 >

	8年3月調査	9年3月調査	10年3月調査	10年11月調査	11年3月調査	11年9月調査	今回調査
現在 (前回比)	-23.0	-30.2 (-7.2)	-70.5 (-40.3)	-77.8 (-7.3)	-51.5 (+26.3)	-35.9 (+15.6)	-29.8 (+6.1)
1年後の予想 (前回比)	-2.2	-24.8 (-22.6)	-21.6 (+3.2)	-20.1 (+1.5)	-1.3 (+18.8)	-1.4 (-0.1)	0.2 (+1.6)

< 景気判断の方法別にみた景況感 >

景況感D.I.(1年前対比)を“景気判断の方法”別にみると、「勤め先や自分の店の経営状況から」や「自分や家族の収入の状況から」判断している人に比べ、「マスコミを通じて」あるいは「景気関連指標等を見て」判断している人において、D.I.の水準およびその改善幅が、引続き良好。

また、今回調査では、「商店街、盛り場などの込み具合を見て」判断している人において、D.I.の改善振りがやや目立つ。

(図表2) 景気判断の方法別にみた景況感D.I.(%)

		景況感D.I.(「良くなっている」-「悪くなっている」)						(今回ウェイト)
		11年3月		11年9月		今回		
			前回比		前回比		前回比	
全 体		-51.5	26.3	-35.9	15.6	-29.8	6.1	
景気判断の方法	「勤め先や自分の店の経営状況から」と回答	-62.4	22.8	-46.8	15.6	-40.7	6.1	41.5
	「自分や家族の収入の状況から」と回答	-57.6	18.4	-41.9	15.7	-38.7	3.2	35.6
	「マスコミを通じて」と回答	-47.7	32.7	-28.0	19.7	-19.9	8.1	31.5
	「商店街、盛り場などの込み具合を見て」と回答	-55.1	23.6	-43.0	12.1	-31.6	11.4	27.2
	「景気関連指標、経済統計を見て」と回答	-51.5	34.2	-27.4	24.1	-19.8	7.6	13.2
	「なんとなく漠然と」と回答	-12.5	22.2	-15.1	-2.6	-11.8	3.3	6.1

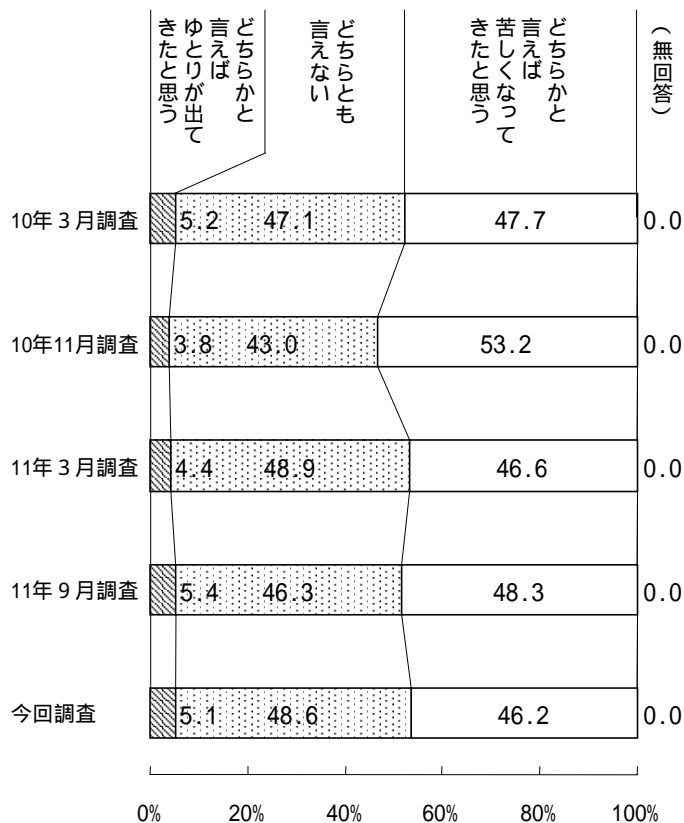
2つまでの複数回答。

2. 暮らし向き、消費意識

(1) 現在の暮らし向き

暮らし向き(1年前対比)については、「苦しくなってきた」がやや減少の一方、「ゆとりが出てきた」も微減。この結果、暮らし向きD.I. (「ゆとりが出てきた」 - 「苦しくなってきた」) はやや改善したものの、景況感D.I. に比べ、改善の足取りは鈍い。

(図表3) 現在の暮らし向き(%)



< D.I. の推移 >

	10年3月調査	10年11月調査	11年3月調査	11年9月調査	今回調査
暮らし向きD.I. (前回比)	-42.5	-49.4 (-6.9)	-42.2 (+7.2)	-42.9 (-0.7)	-41.1 (+1.8)
景況感D.I. (前回比)	-70.5	-77.8 (-7.3)	-51.5 (+26.3)	-35.9 (+15.6)	-29.8 (+6.1)

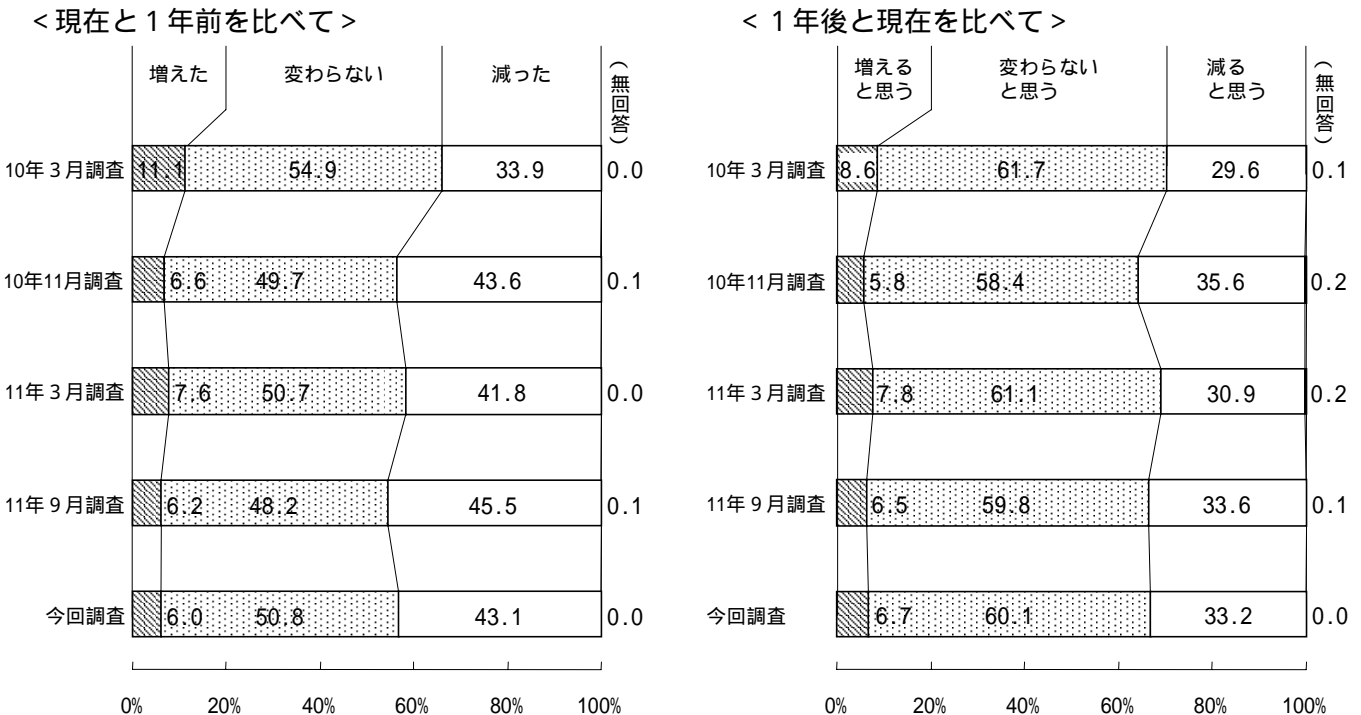
(2) 収入、雇用環境

収入(1年前対比)については、「減った」が減少、「変わらない」が増加し、収入D.I.(「増えた」-「減った」)は前回比やや改善。

1年後までの変化については、「変わらないと思う」が6割を占めているなど、生活者の慎重な見方が窺われる。

この間、勤労者の中で、勤め先の雇用・処遇について不安を感じている人は8割、また、自営業者の中で、自分の事業について不安を感じている人は約9割。

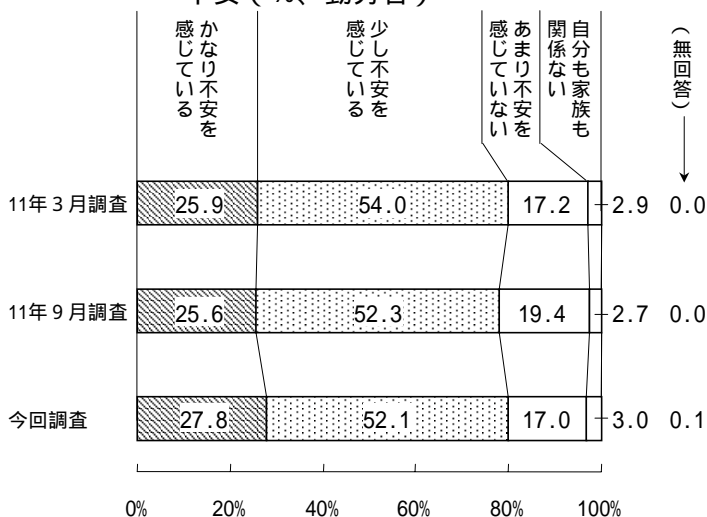
(図表4) 収入(%)



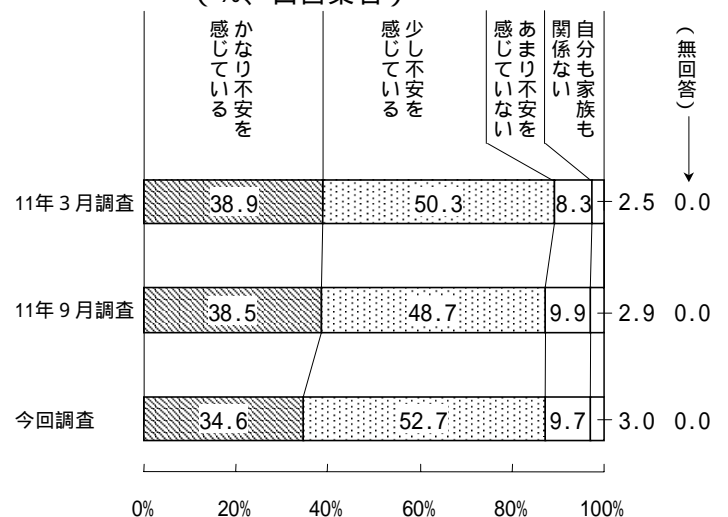
< D.I.の推移 >

	8年3月調査	9年3月調査	10年3月調査	10年11月調査	11年3月調査	11年9月調査	今回調査
現在	-11.9	-10.0	-22.8	-37.0	-34.2	-39.3	-37.1
(前回比)	(-2.3)	(+1.9)	(-12.8)	(-14.2)	(+2.8)	(-5.1)	(+2.2)
1年後の予想		-7.6	-21.0	-29.8	-23.1	-27.1	-26.5
(前回比)			(-13.4)	(-8.8)	(+6.7)	(-4.0)	(+0.6)

(図表5) 勤め先での雇用・処遇についての不安(%、勤労者)



(図表6) 自分の事業についての不安(%、自営業者)

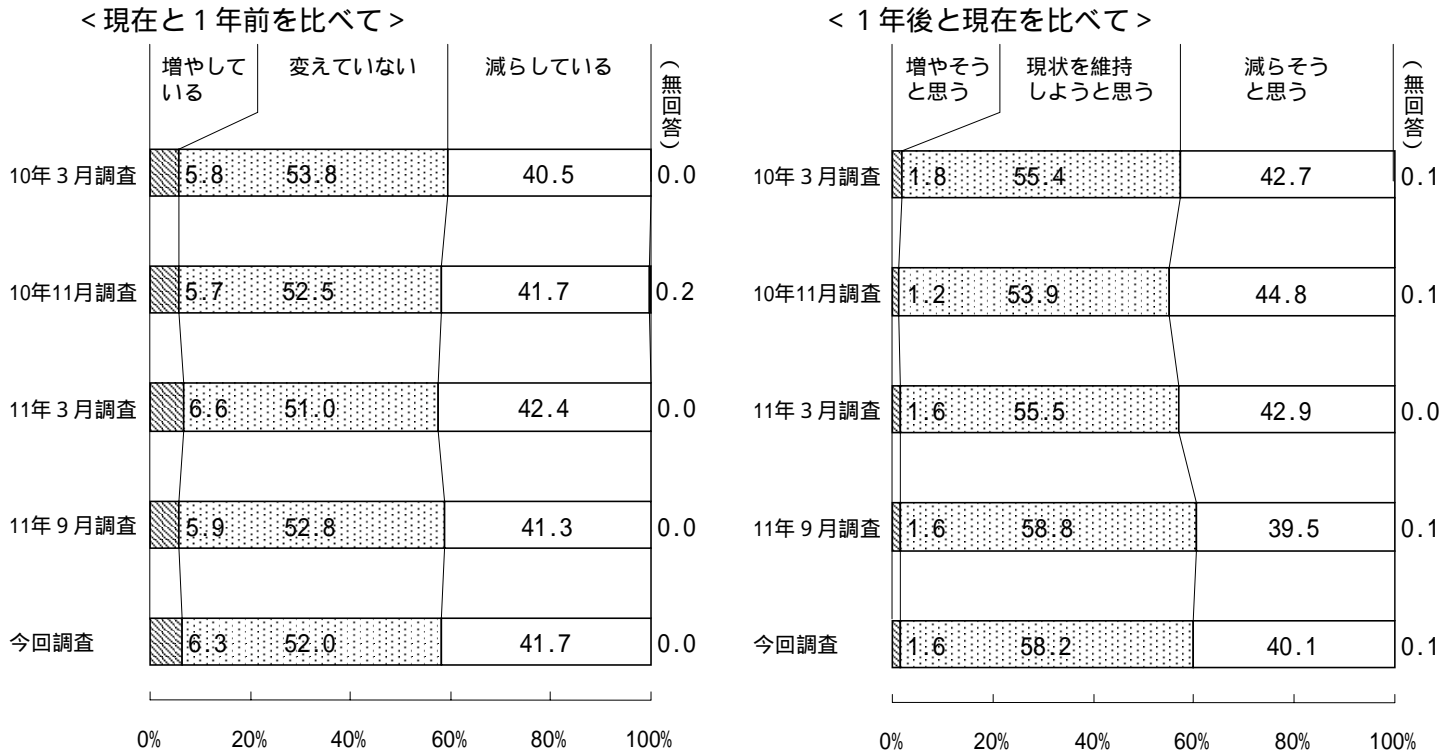


(3) 支出

支出(1年前対比)については、「減らしている」が引続き4割強存在。支出D.I.(「増やしている」-「減らしている」)は前回比横這いと、景況感D.I.のような改善はみられていない。先行きについても慎重。景況感と支出の関係を見ると、景況感が「良くなっている」と回答した人においても、支出D.I.に目立った改善はみられていない。

支出を減らしている理由としては、「将来の仕事や収入に不安があるから」が引続き最も多い。この間、支出を増やしている理由をみると、「欲しい商品やサービスがあるから」、「株式や債券等の金融資産が値上がりしたから」が前回比増加しているが、後者については全体に占めるウェイトは小さい。

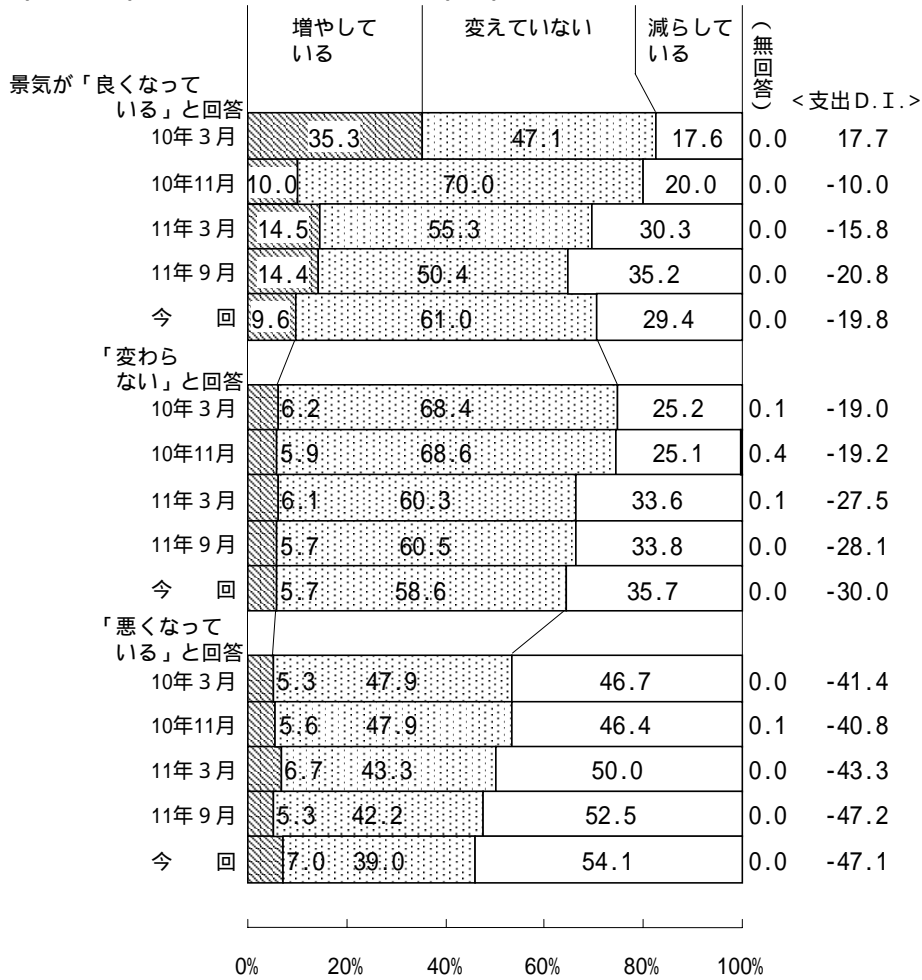
(図表7) 支出(%)



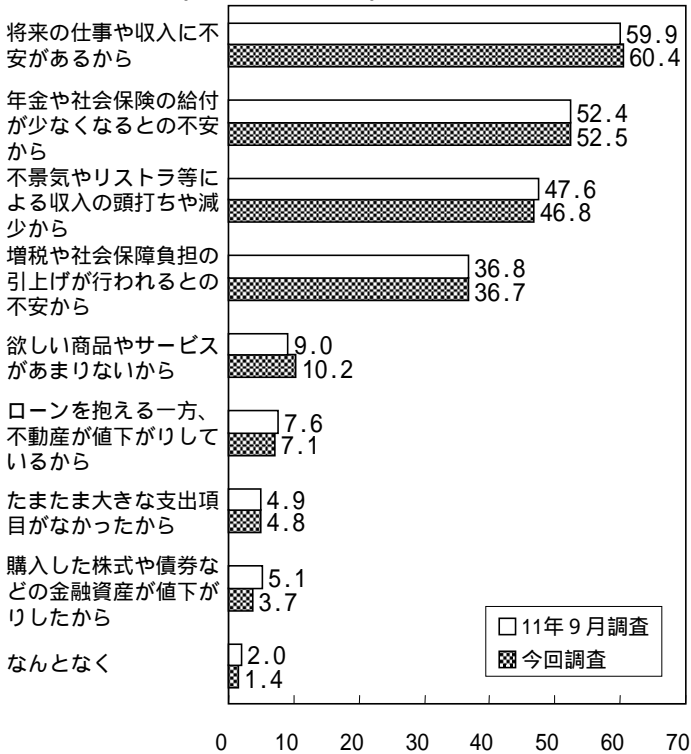
< D.I.の推移 >

	8年3月調査	9年3月調査	10年3月調査	10年11月調査	11年3月調査	11年9月調査	今回調査
現在 (前回比)	-38.4	-16.7	-34.7	-36.0	-35.8	-35.4	-35.4
		(+21.7)	(-18.0)	(-1.3)	(+0.2)	(+0.4)	(±0.0)
1年後の予想 (前回比)	-49.7	-38.6	-40.9	-43.6	-41.3	-37.8	-38.5
		(+11.1)	(-2.3)	(-2.7)	(+2.3)	(+3.5)	(-0.7)
景況感D.I. (前回比)	-23.0	-30.2	-70.5	-77.8	-51.5	-35.9	-29.8
		(-7.2)	(-40.3)	(-7.3)	(+26.3)	(+15.6)	(+6.1)

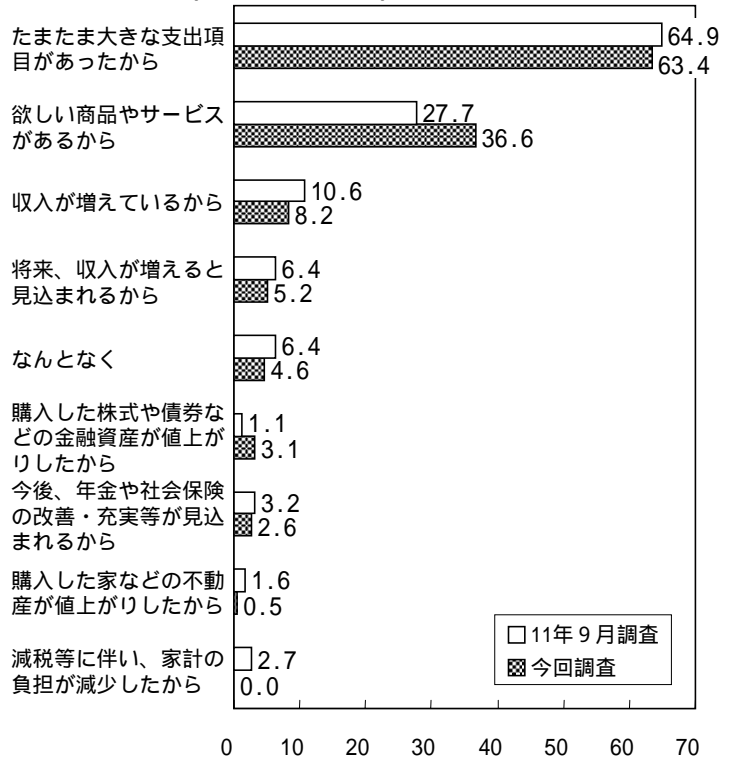
(図表8) 支出と景況感との関係 (%)



(図表9) 支出を減らしている理由 (%、複数回答)



(図表10) 支出を増やしている理由 (%、複数回答)



3. 金融

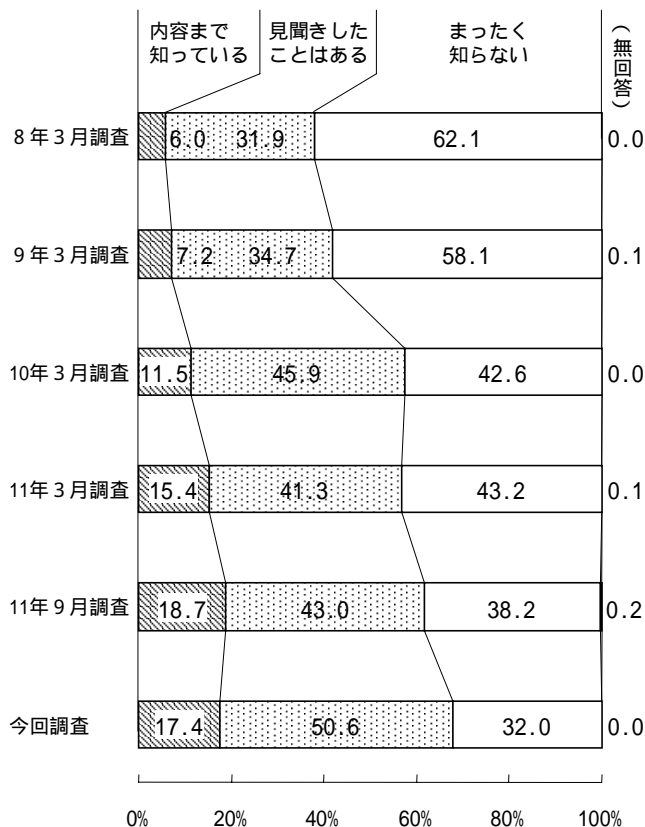
(1) 預金保険制度の認知度

預金保険制度の認知度は前回比さらに上昇し、全体の7割近くに達した。

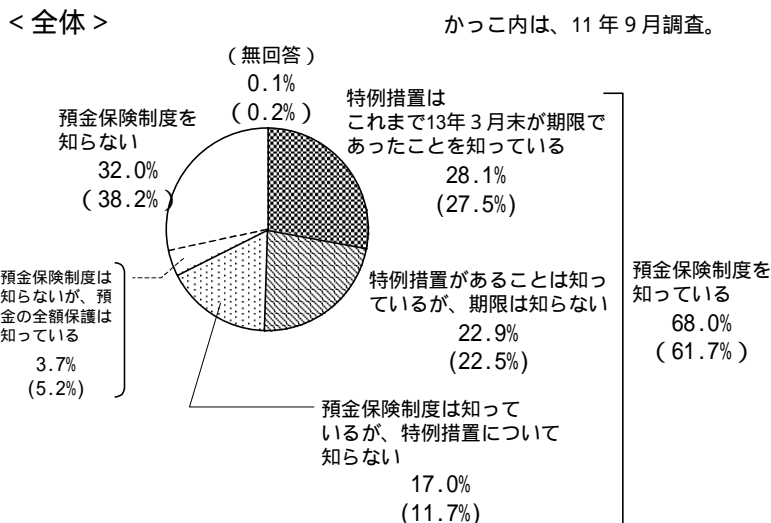
預金保険制度の特例措置についての認知度は、全体ではほぼ横這い。ただ、貯蓄残高1,000万円以上の世帯では、特例措置の期限の認知度が5割を突破するなど、同措置の認知度の上昇がみられた。

また、特例措置を知っている人のうち、預金保険法の改正について、特例期間の延長まで知っている人は42.0%、特例期間後の制度見直しまで知っている人は27.9%となっている。

(図表1.1) 預金保険制度の認知度 (%)

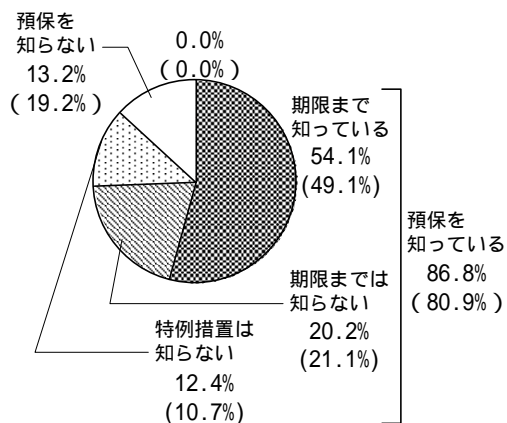


(図表1.2) 特例措置とその期限の認知 (%)

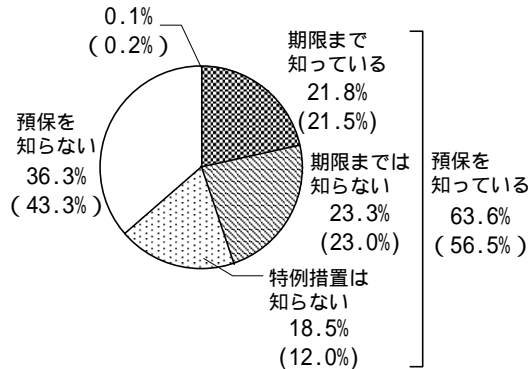


(図表1.2 続き)

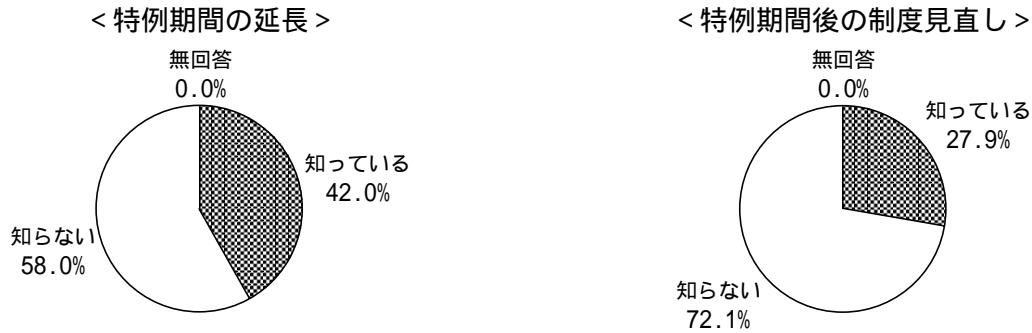
<世帯貯蓄残高1,000万円以上>



<同1,000万円未満>



(図表13) 預金保険法改正の認知(特例措置を知っている人、%)

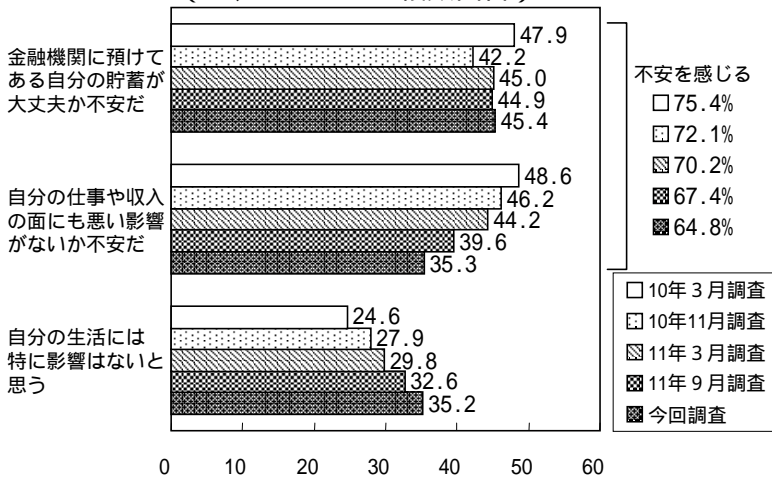


(2) 金融機関破綻に関する受け止め方

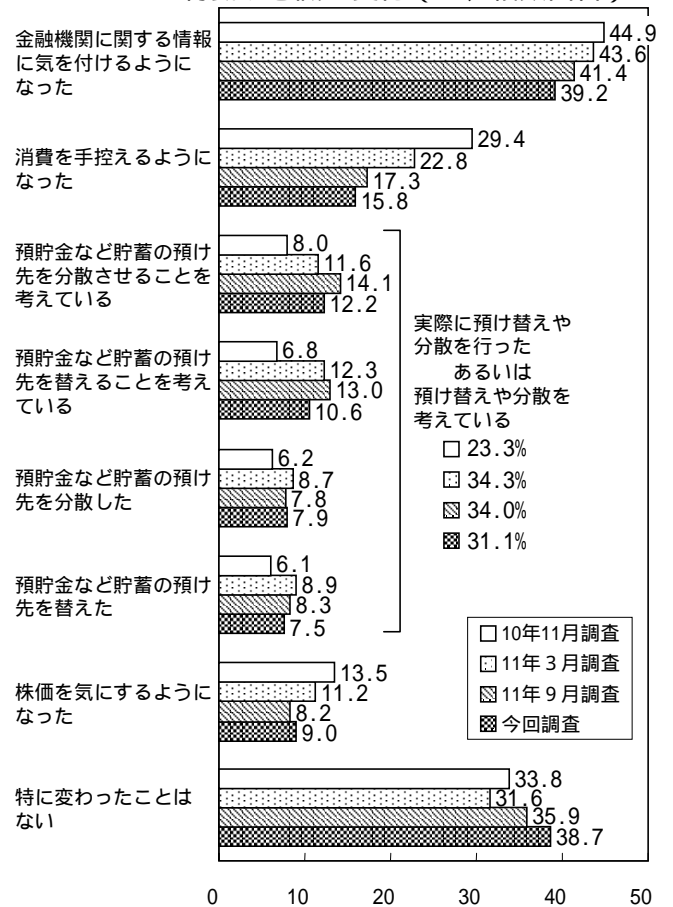
金融機関の破綻に関しては、引き続き「自分の仕事や収入の面にも悪い影響がないか不安だ」が減少し、「自分の生活には特に影響はないと思う」が増加傾向。ただし「金融機関に預けてある自分の貯蓄が大丈夫か不安だ」は引き続き4割超となっている。

金融不安・金融機関破綻のニュースを聞いて、実際に預け替えや分散を行った、あるいは、今後預け替えや分散を考えるとする人は、なお約3割存在。一方、「消費を手控えるようになった」は減少傾向。

(図表14) 金融機関の経営破綻に関する受け止め方 (%、2つまでの複数回答)



(図表15) 金融不安・金融機関破綻報道による行動や意識の変化(%、複数回答)

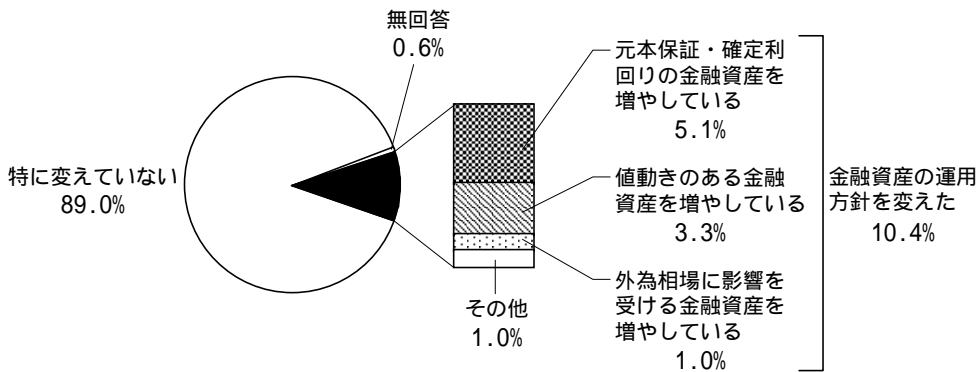


4. 家計のバランスシート

(1) 金融資産の運用方針

最近、金融資産の運用方針を変更した人は全体の約1割。変更の具体的な内容としては、「元本保証・確定利回りの金融資産を増やしている」が、運用方針を変更した人の約半数を占め、次いで「値動きのある金融資産（株式、投信等）を増やしている」、「外為相場に影響を受ける金融資産を増やしている」が続いている。

(図表16) 金融資産の運用方針 (%)

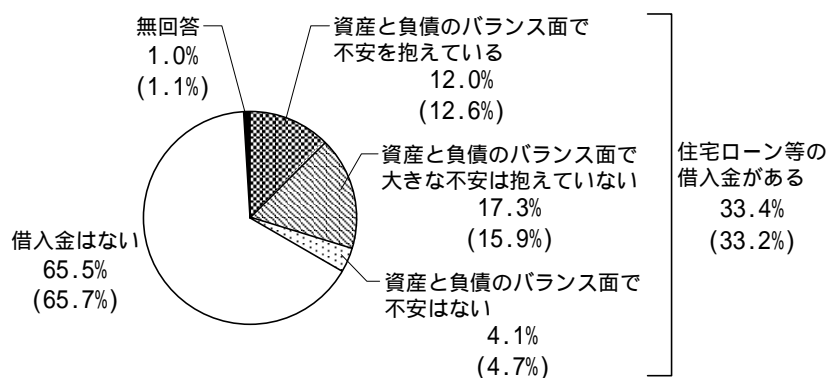


(2) 資産・負債バランスについての不安

住宅ローン等の借入金がある人のうち、「資産の値下がりが激しく、資産と負債のバランスが崩れて不安を抱えている」との回答は、引続き4割弱（全体の12.0%）となっている。

(図表17) 家計の資産・負債バランスについての不安 (%)

かっこ内は11年9月調査。



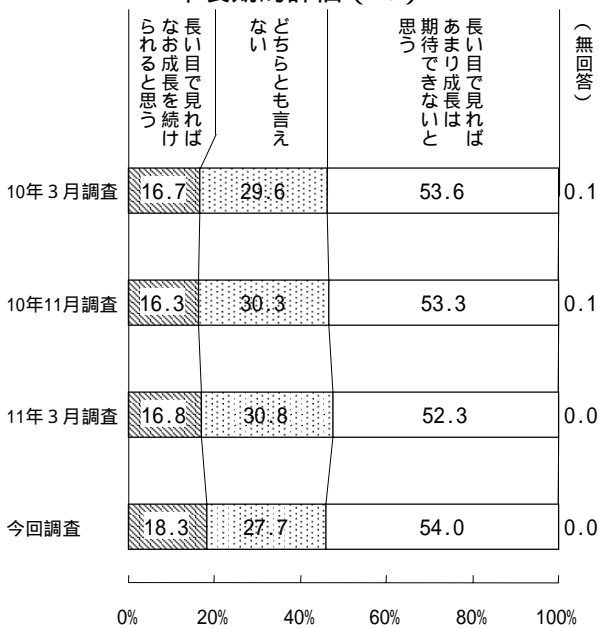
5. 日本経済の成長に対する中長期的評価

日本経済の成長に対する中長期的評価については、引き続き「長い目でみればあまり成長は期待できない」が5割強で推移（「成長を続けられる」は足許やや増加）。

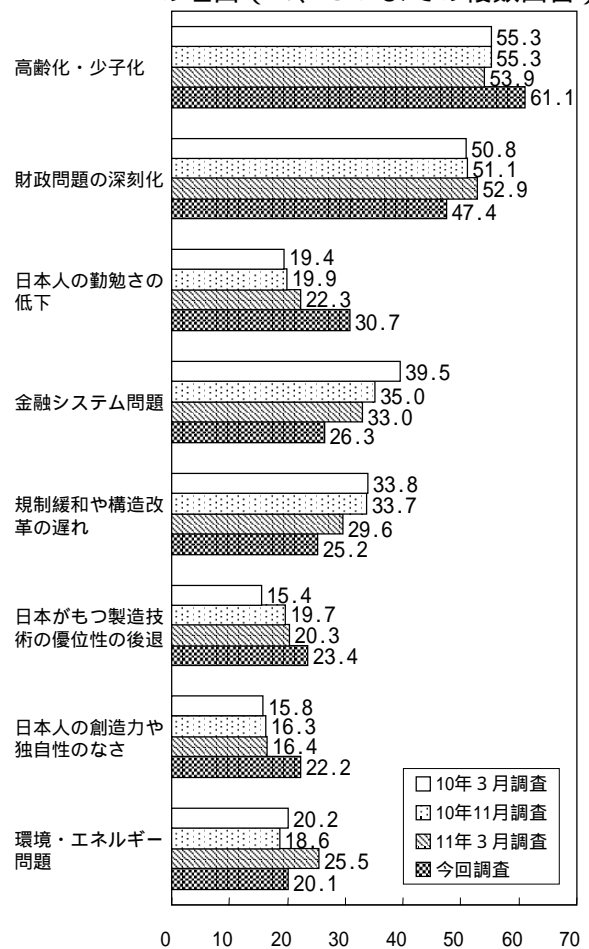
成長が期待できないと考える理由としては「高齢化・少子化」が最も多い。また、これまでの調査に比べると、経済政策・環境に起因する理由がやや低下する一方、「高齢化・少子化」、「勤勉さの低下」、「製造技術の優位性の後退」、「創造力や独自性のなさ」といった日本（人）のポテンシャルな力に対する信認の低下（回答割合の増加）が目立っている。

一方、成長が続けられると考える理由としては、「コンピュータなど情報化の進展」が大きく増加している。

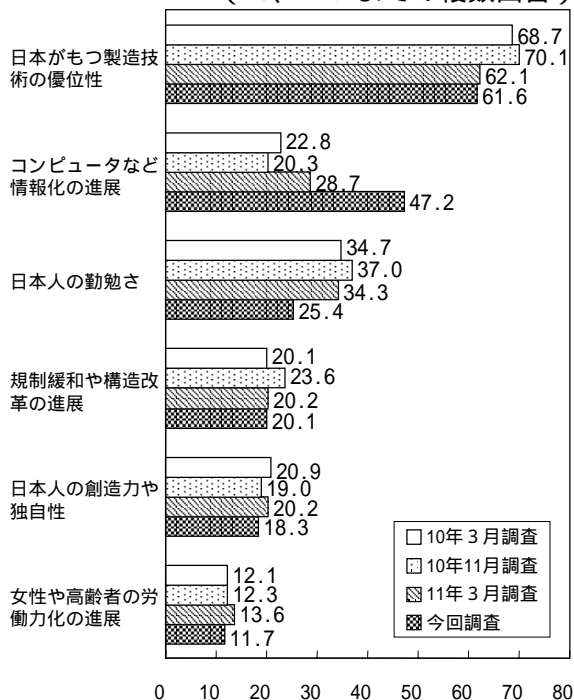
（図表18）日本経済の成長に対する中長期的評価（%）



（図表19）「成長は期待できない」と考える人の理由（%、3つまでの複数回答）



（図表20）「成長を続けられる」と考える人の理由（%、2つまでの複数回答）



(調査結果)

生活意識に関するアンケート調査

(注) 太文字の数値は回答比率 % (小数第2位を四捨五入したことや、無回答者を掲記していないことから、単数回答項目について、その構成比は必ずしも100にならない)

問1. 現在、関心を持っている経済問題は何ですか。(は3つまで)

1 景気	71.2	7 金融システム問題	10.5
2 雇用、収入	41.0	8 財政、税金	26.5
3 物価	27.3	9 高齢化、少子化	42.8
4 地価	4.4	10 規制緩和	5.2
5 株価	5.1	11 産業空洞化、国際競争力	5.2
6 金利	28.1	12 その他(具体的に)	0.8

問2. 1年前と比べて、最近の景気はどう変わったと思いますか。(は1つ)

1 良くなっていると思う	2 変わらないと思う	3 悪くなっていると思う
4.4	61.4	34.2

問3. そうお考えになるのは、主にどのようなことからですか。(は2つまで)

1 マスコミを通じて	31.5	5 商店街、盛り場などの混み具合	27.2
2 景気関連指標、経済統計を見て	13.2	を見て	
3 勤め先や自分の店の経営状況から	41.5	6 なんとなく漠然と	6.1
4 自分や家族の収入の状況から	35.6	7 その他(具体的に)	2.2

(問2で「3 悪くなっていると思う」と答えた方にお聞きします)

問4. 景気に関して、次にあげる中であなたの実感に近いのはどれですか。(はいくつでも)

1 企業の努力などにより、景気は時間が経てばいずれ良くなると思う	20.3
2 不景気になっても、経済や社会の構造を改革するためならやむをえないと思う	15.1
3 不景気だとは言っても、日本の国は豊かになっており、自分の暮らし向きについて言えば生活に困るといほど深刻ではないと思う	26.1
4 不景気はこれまで経験したことがないくらい深刻であり、企業の自助努力などでは対応に限界があると思う	55.2
5 その他(具体的に)	5.9

(全員にお聞きします)

問5. 1年後の景気は、現在と比べてどうなると思いますか。(は1つ)

1 良くなっていると思う	2 変わらないと思う	3 悪くなっていると思う
12.8	74.5	12.7

問6 . 以下にあげる4つの事柄(1)~(4))に関して、あなたはA、Bのどちらをより意識しますか。
(はそれぞれ1つ)

			〔1〕 どちらかと言えば Aに近い	〔2〕 言えない どちらとも	〔3〕 どちらかと言えば Bに近い	
事柄		A				B
(1)	減税	国・地方の税収の減少(財政負担の増加)を招く	21.8	34.1	43.9	家計・企業の税負担を減らす
(2)	公的年金の改革	年金の給付水準が切り下げられる	32.7	28.8	38.4	年金制度を維持させる
(3)	公共投資	財政負担の増加に繋がる	31.5	35.5	32.8	景気を回復させる
(4)	規制緩和	企業間の競争をより激しくさせる	21.4	39.2	39.2	競争を通じ、モノやサービスの価格を低下させる

問7 . 現在の金利水準に関して、どのようにお考えになりますか。(は2つまで)

- | | | |
|---|--------------------------------------------------|------|
| 1 | 企業の活動が活発になり、景気がよくなることを期待している | 37.9 |
| 2 | 現在の金利水準でも、景気がよくなることは期待できない | 50.0 |
| 3 | 預金などから受け取る利子が少なくなっているのがつらい | 53.6 |
| 4 | 受け取る利子は少なくなっている一方で、物価が安定しており、元本が目減りしないので大きな不満はない | 8.5 |
| 5 | 住宅ローンなどの借入れをしようと考えている(あるいは、既にしている)ので金利負担が少なく、助かる | 10.6 |
| 6 | その他(具体的に) | 1.4 |

問8 . 1年前と比べて、あなた(またはご家族)の収入はどうなりましたか。(は1つ)

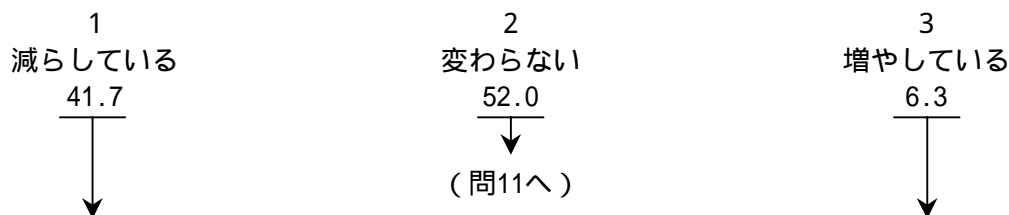
1	2	3
増えた	変わらない	減った
6.0	50.8	43.1

問9 . 1年後のあなた(またはご家族)の収入は、現在と比べてどうなると思いますか。

(は1つ)

1	2	3
増えると思う	変わらないと思う	減ると思う
6.7	60.1	33.2

問10. 1年前と比べて、あなた（またはご家族）の支出をどのようにしていますか。（ は1つ）



(問10で 1 と答えた方にお聞きします)

問10-1a. 支出を減らしているのはなぜですか。

(はいくつでも)

- | | |
|---------------------------------------|------|
| 1 不景気やリストラなどのために収入が頭打ちになったり減ったりしているから | 46.8 |
| 2 将来の仕事や収入に不安があるから | 60.4 |
| 3 今後は年金や社会保険の給付が少なくなるのではないかと不安から | 52.5 |
| 4 将来、増税や社会保障負担の引き上げが行われるのではないかと不安から | 36.7 |
| 5 住宅ローンを抱える一方で、購入した家などの不動産が値下がりしたから | 7.1 |
| 6 購入した株式や債券などの金融資産が値下がりしたから | 3.7 |
| 7 欲しい商品やサービスがあまりないから | 10.2 |
| 8 たまたま大きな支出項目がなかったから | 4.8 |
| 9 なんとなく | 1.4 |

(問10で 3 と答えた方にお聞きします)

問10-1b. 支出を増やしているのはなぜですか。

(はいくつでも)

- | | |
|-----------------------------|------|
| 1 収入が増えているから | 8.2 |
| 2 将来、収入が増えると見込まれるから | 5.2 |
| 3 減税等に伴い、家計の負担が減少したから | 0.0 |
| 4 今後、年金や社会保険の改善・充実等が見込まれるから | 2.6 |
| 5 購入した家などの不動産が値上がりしたから | 0.5 |
| 6 購入した株式や債券などの金融資産が値上がりしたから | 3.1 |
| 7 欲しい商品やサービスがあるから | 36.6 |
| 8 たまたま大きな支出項目があったから | 63.4 |
| 9 なんとなく | 4.6 |

(全員にお聞きします)

問11. 問10の支出を、(1)生活費や教育費など日常的な支出(生活していくためのお金)と、(2)趣味やレジャーなど選択的な支出(1)以外のお金)の2つに分けてみると、どうですか。(1)と(2)それぞれについてお答えください。(それぞれ は1つ)

		[1]	[2]	[3]	[4]	[5]
		切り詰めている	なんとなく減らしている	変えていない	いやむなく増えている	増やしている
(1)	生活費や教育費など日常的な支出 (生活していくためのお金)	22.8	28.3	35.4	12.9	0.6
(2)	趣味やレジャーなど選択的な支出 (1)以外のお金)	31.9	34.3	26.3	5.3	2.0

問12. 今後1年間の支出をどのようにしようと考えていますか。(は1つ)

1	2	3
減らそうと思う	現状を維持しようと思う	増やそうと思う
40.1	58.2	1.6

問13. あなたは、以下のどの項目が実現すれば支出を増やすと思いますか。(はいくつでも)

1 一層の所得税減税	28.4
2 消費税率の引下げ	44.1
3 住宅ローン、教育ローンなどがある人を対象とした政策減税	14.6
4 雇用や収入の不安の解消	44.3
5 金融システム不安の解消	17.7
6 年金改革や財政赤字などに対する指針を示し、国民負担の将来像を明確化する	34.9
7 その他(具体的に)	2.7
8 支出を増やすつもりはない	13.6

問14. 支出について今のあなたの考え方に特にあてはまるものはどれですか。(は2つまで)

1 基本的には、収入が増えれば支出も増えると思う	62.6
2 現在の収入よりも将来の不安があるかないかによって、支出は変わると思う	48.3
3 住宅などの不動産を持っているので、こうした資産の値上がりや値下がりによって、支出は変わると思う	4.3
4 株式や投資信託などを持っているので、株価の値上がりや値下がりによって、支出は変わると思う	3.4
5 税金や社会保険料によっても手取り収入は変わるので、支出はこれらの影響も受けると思う	31.7
6 買いたいと思わせるような魅力的な商品やサービスがあるかどうかで支出は変わると思う	14.7
7 似たような新商品が次々に登場したり、短期間で価格が大きく変わったりすると、買い時の判断が影響を受けるから、支出は変わると思う	5.2

問15. あなたは以下の商品について、近いうちに購入したいとお考えですか。(それぞれ は1つ)

	〔1〕 近いうちに新規購入ないし 買い替えをしたいと思 っている	〔2〕 新規購入ないし買い替え をしたいと思っている が、収入面に不安がある ので先送りしている	〔3〕 新規購入ないし買い替え の希望はない
(1)自動車	8.9	27.0	63.9
(2)テレビ、パソコン等 の家電製品	15.2	28.9	55.7
(3)家具等の住宅関連 商品	5.8	20.1	73.9

問16. 物価についてお聞きします。

(1) 1年前と比べて、現在の物価をどのように感じていますか。(は1つ)

1	2	3	4	5
かなり下がっている	少し下がっている	ほとんど前年と変わっていない	少し上がっている	かなり上がっている
2.0	16.3	62.1	17.6	1.8

(2) それは、具体的に、どの位のイメージですか。(は1つ)

1 プラス5%以上	3.7	5 マイナス1%以下、マイナス3%未満	11.5
2 プラス3%以上、プラス5%未満	8.9	6 マイナス3%以下、マイナス5%未満	4.6
3 プラス1%以上、プラス3%未満	14.2	7 マイナス5%以下	1.9
4 プラス・マイナス1%未満	53.7		

(3) あなたは、(1)・(2)でお答えになった状況(物価の現状)について、どのように受け止めていますか。(は1つ)

1	2	3	4	5
たいへん困っている	どちらかと言えば困っている	どちらかと言えば困っていない	まったく困っていない	いずれとも言えない
5.0	29.1	28.8	7.0	29.9

問17. あなたは、問16で物価を考えた際に、主にどのようなものの値段をイメージしましたか。

(は3つまで)

1 食料品の値段	71.2	6 住宅の建設・修繕費や家賃	13.0
2 日用品の値段	50.1	7 旅行やレジャーの値段	13.2
3 電気製品、自動車などの耐久消費財の値段	21.0	8 病院の診察費や薬の値段	22.5
4 交通機関の運賃	13.4	9 学校や教育サービスの値段	7.2
5 電気、ガス、水道料金等の公共料金	33.6	10 その他(具体的に)	1.2

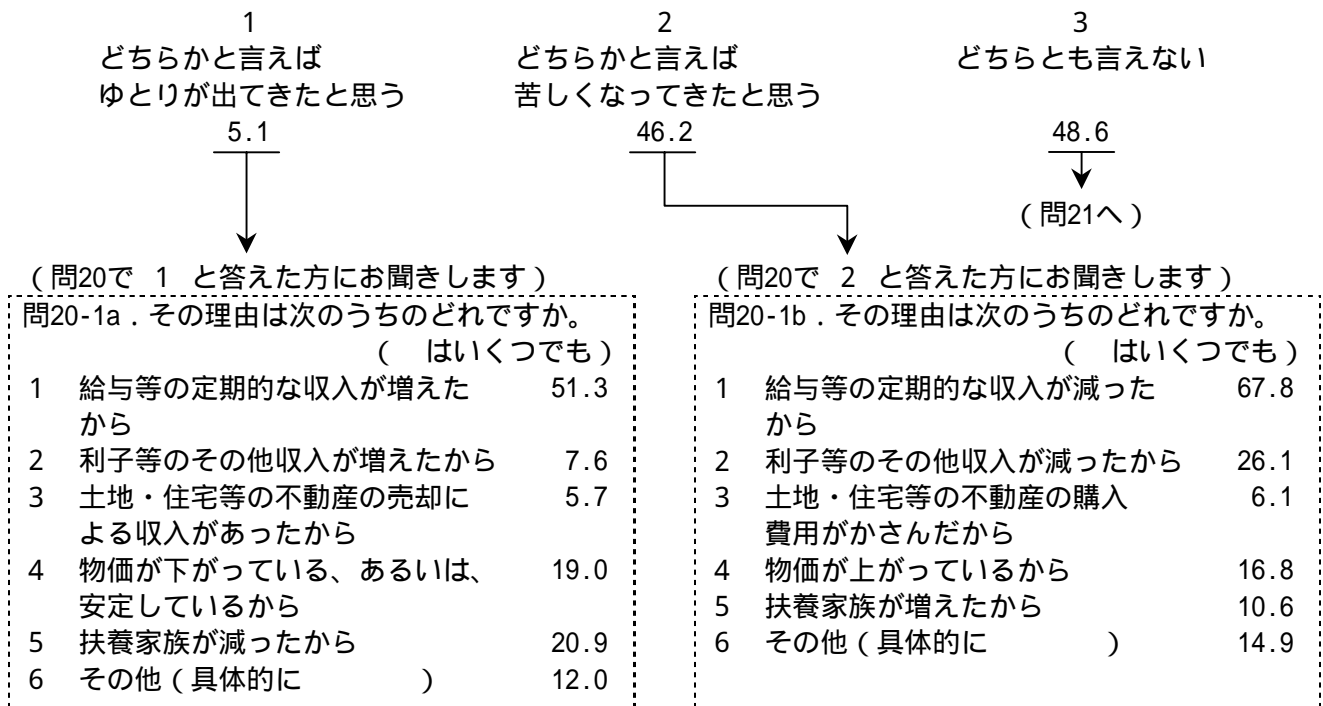
問18. 1年後の物価は、現在と比べるとどうなると思いますか。(は1つ)

1	2	3	4	5
かなり下がる	少し下がる	ほとんど今年と変わらない	少し上がる	かなり上がる
0.1	5.7	67.7	25.5	0.9

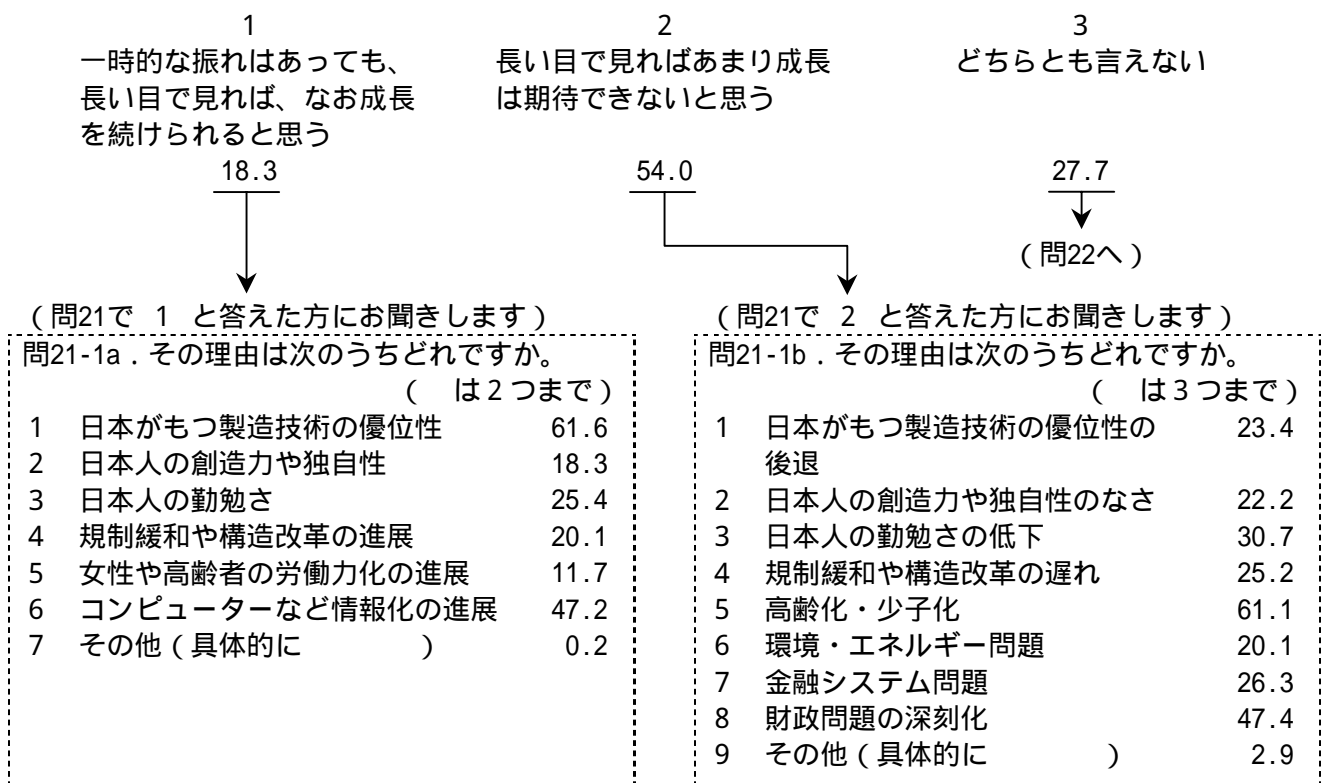
問19. 今後の地価について、どのようなイメージを持っていますか。(は1つ)

1 以前と比べて随分下がったので、そろそろ上昇すると思う	8.3
2 現状程度が適切な水準であり、しばらくはこの程度だと思う	41.5
3 下がったと言っても、依然として高いので、まだ下がると思う	20.5
4 わからない	29.6

問20 . あなたは、ご自分の暮らし向きについて、1年前と比較してどのようにお感じになっていますか。(は1つ)



(全員にお聞きします)
問21 . あなたは、日本の経済の成長力について、どうお考えですか。(は1つ)



(全員にお聞きします)

問22. あなた(またはご家族)の勤め先の経営、あるいは、あなた(またはご家族)が営んでいる事業に不安を感じていますか。(は1つ)

1	2	3	4
あまり不安を感じていない	少し不安を感じている	かなり不安を感じている	自分も家族も関係ない
16.0	50.0	24.7	9.1

問23. あなた(またはご家族)のところでは、給与や人員の抑制・削減といった合理化、リストラがここ1年くらいの間に行われましたか、あるいは今後予定されていますか。(は1つ)

1	2	3	4
行われた	まだ行われていないが、今後行われる予定である	行われていないし、今後行われる予定もないと思う	わからない
31.6	13.4	24.2	30.6

↓ (問24へ)

(問23で 1 または 2 と答えた方にお聞きします)

問23-1. 具体的には、どのようなことが実施されましたか、あるいは予定されていますか。(はいくつでも)

1	時間外労働の削減	38.8
2	給与カットや賃金制度の見直し	57.1
3	新卒採用の抑制	32.9
4	出向や早期退職勧奨などによる人員の削減	34.6
5	ポストの削減や組織の改革	22.7
6	人事、資格制度の見直し	19.0
7	その他(具体的に)	3.2
8	予定されているが、具体的にはわからない	5.0

(全員にお聞きします)

問24. あなた(またはご家族)の勤め先での雇用・処遇(給与、昇格、福利厚生など)に不安を感じていますか。(は1つ)

1	2	3	4
あまり不安を感じていない	少し不安を感じている	かなり不安を感じている	自分も家族も関係ない
16.4	47.3	23.3	12.7

問25 . あなたのご家族のなかで、就職・再就職を考えている方は（あなた自身を含めて）いらっしゃいますか。（ は1つ）

1
いる
31.5

2
いない
68.5
↓
(問26へ)

(問25で 1 と答えた方にお聞きします)

問25-1 . あなた（またはその方）の就職・再就職に不安を感じていますか。（ は1つ）

1	あまり不安を感じていない	5.5
2	少し不安を感じている	39.4
3	かなり不安を感じている	55.1

(全員にお聞きします)

問26 . 住宅（マイホーム）に関して、あなたはどのようにお考えですか。すでにマイホームをお持ちの方も、ご自身の考え方をお答え下さい。（ は1つ）

1	やはり自分の家、土地を持ちたいと思う	63.8
2	持ち家にこだわらないので、賃貸住宅に住み続けてよいと思う	7.5
3	親と同居している（今後する予定である）ので、自分で家を持つことを特に意識していない	12.6
4	いずれとも言えない	16.0

問27 . 景気対策の一環として、来年までに新しいマイホームに住み始める方に限り、住宅ローン減税全般が拡充されていることを、あなたはご存知ですか。（ は1つ）

1
内容まで知っている
10.4

2
見聞きしたことはある
53.2

3
まったく知らない
36.0

問28 . マイホームなどの購入・買い替えを具体的に計画していますか。(は1つ)

1	2	3	4
いまのところ購入・ 買い替えの計画はない	はじめてマイホームを 購入する計画がある	買い替えの計画がある	セカンドハウスを購入 する計画がある
91.5	3.3	4.1	0.8

(問28で 1 と答えた方にお聞きします)

(問28で 2 ~ 4 のいずれかを
答えた方にお聞きします)

問28-1a . どのような条件が満たされれば購入・
買い替えをしてもよいと思えますか。
(はいくつでも)

1	住宅価格、地価が低下すれば	18.3
2	住宅ローン金利が低下すれば	10.6
3	雇用・収入などの不安がなくなれば	24.3
4	一層の税制面の支援策があれば	7.7
5	自分の考える条件(広さや環境、 通勤時間など)にあった物件があ れば	13.6
6	その他(具体的に)	7.2
7	どうしても購入や買い替えは考え られない	53.4

問28-1b . いつごろ購入・買い替えをしようと
計画していますか。(は1つ)

1	今年中	23.3
2	来年中	6.7
3	再来年以降	13.4
4	時期についてはまだ考えていない	56.5

問28-2b . どのような理由から、購入・買い替
えの計画を立てましたか。
(はいくつでも)

1	住宅価格、地価が低下したから	23.3
2	住宅ローン金利が低下したから	29.6
3	雇用・収入などの不安がなくなっ たから	6.7
4	税制面の支援策があったから	14.6
5	自分の考える条件(広さや環境、 通勤時間など)にあった物件があ ったから	30.4
6	その他(具体的に)	31.6

(全員にお聞きします)

問29. あなたには、住宅ローンや消費者ローンなどの借入金がありますか。(は1つ)

1
あ る
34.3

2
な い
65.5
↓
(問30へ)

(問29で 1 と答えた方にお聞きします。)

問29-1. あなたは、最近、借入れの返済について何かしましたか。

(は1つ)

- | | | |
|---|----------------------|------|
| 1 | 今後1回当たりの返済額が減るようにした | 10.7 |
| 2 | 今後1回当たりの返済額が増えるようにした | 1.4 |
| 3 | 返済期間を短縮するようにした | 12.2 |
| 4 | 返済期間を延長するようにした | 4.0 |
| 5 | とくに何もしていない | 71.6 |

↓
(問30へ)

→(問29-1で 1 ~ 4 のいずれかを答えた方にお聞きします。)

問29-2. 具体的にはどうしましたか。(はいくつでも)

- | | | |
|---|------------|------|
| 1 | 借り換えを行った | 46.3 |
| 2 | 繰上げ返済を行った | 29.2 |
| 3 | 返済方法を変えた | 34.2 |
| 4 | その他(具体的に) | 1.7 |

問29-3. また、そのようにしたのは、なぜですか。

(はいくつでも)

- | | | |
|---|-----------------------------------|------|
| 1 | 減税や株価の上昇などで手元の資金が増えたから | 1.7 |
| 2 | 将来の収入が不安だから | 31.5 |
| 3 | 現在の収入が減って、毎回の返済負担が重くなったから | 23.5 |
| 4 | 低金利だから | 51.7 |
| 5 | 当初の返済方法の取り決めにしたがって、毎回の返済額が急に増えたから | 8.4 |
| 6 | 早く返済することを催促されたから | 4.4 |
| 7 | その他(具体的に) | 8.1 |

(全員にお聞きします)

問30. あなたの家計全体のバランスについて、以下の中から最も近い感じのものをお選び下さい。

(は1つ)

- | | | |
|---|---------------------------------------------------------------------------|------|
| 1 | 住宅ローン等の借入はほとんどなく、一方で資産(持家もしくは金融資産等)はそこそこあるので、資産と負債のバランスに関する不安はない | 58.1 |
| 2 | 住宅ローン等の借入があるものの、資産(持家もしくは金融資産等)の値下がりはそれほど大きくないため、資産と負債のバランス面で大きな不安は抱えていない | 21.8 |
| 3 | 住宅ローン等の借入がある一方、資産(持家もしくは金融資産等)の値下がりが激しく、資産と負債のバランスが崩れて不安を抱えている | 15.7 |

問31 . あなたは最近、金融資産の運用方針を変えましたか。(は1つ)

- | | | |
|---|-----------------------------------------|------|
| 1 | 預金など元本保証・確定利回りの金融資産を増やしている | 5.1 |
| 2 | 投資信託や株式など値動きのある金融資産(3に該当するものを除く)を増やしている | 3.3 |
| 3 | 外貨建て債券や外貨預金など外国為替相場に影響を受ける金融資産を増やしている | 1.0 |
| 4 | 特に変えていない | 89.0 |
| 5 | その他(具体的に) | 1.0 |

問32 . あなたは金融機関経営や金融システム問題にどの程度関心がありますか。(は1つ)

- | | | |
|----------|------------|----------|
| 1 | 2 | 3 |
| 非常に関心がある | それなりに関心がある | あまり関心がない |
| 8.3 | 49.1 | 42.5 |

問33 . 金融機関の経営破綻から、あなたは何をお感じになりますか。(は2つまで)

- | | | |
|---|-------------------------------|------|
| 1 | 金融機関に預けてある自分の貯蓄が大丈夫かどうか不安だ | 45.4 |
| 2 | 自分の仕事や収入の面にも悪い影響が出るのではないかと不安だ | 35.3 |
| 3 | 自分の生活には特に影響はないと思う | 35.2 |

問34 . 金融不安・金融機関破綻のニュースを聞いてあなたの行動はどう変わりましたか。

- (はいくつでも)
- | | | |
|---|---------------------------|------|
| 1 | 預貯金など貯蓄の預け先を替えた | 7.5 |
| 2 | 預貯金など貯蓄の預け先を替えることを考えている | 10.6 |
| 3 | 預貯金など貯蓄の預け先を分散した | 7.9 |
| 4 | 預貯金など貯蓄の預け先を分散させることを考えている | 12.2 |
| 5 | 金融機関に関する情報に気をつけるようになった | 39.2 |
| 6 | 消費を手控えるようになった | 15.8 |
| 7 | 株価を気にするようになった | 9.0 |
| 8 | 特に変わったことはない | 38.7 |

問35 . 預金には預金者保護のために、原則として1金融機関につき、預金者一人当たり元本1,000万円まで保険がかけられていることをご存じですか。(は1つ)

- | | | |
|-----------|------------|----------|
| 1 | 2 | 3 |
| 内容まで知っている | 見聞きしたことはある | まったく知らない |
| 17.4 | 50.6 | 32.0 |

問36 . 預金者保護のための特例として、現在、1,000万円を上回る元本部分や金利分を含めて預金の全額が保護されることをご存知ですか。(は1つ)

1 内容まで知っている 11.4	2 見聞きしたことはある 43.3	3 まったく知らない 45.2
↓		↓ (問37へ)

(問36で 1 または 2 と答えた方にお聞きします)

問36-1 . この預金者保護のための特例の期限は、これまで2001年3月末であったことをご存知ですか。(は1つ)

1	知っている	53.3
2	知らない	46.7

問36-2 . 政府は、特例の期限(2001年3月末)の1年延長を含む、預金者保護のための制度改正案を国会に提出しました。この制度改正案についてお聞きします。
あなたは、特例の期限の1年延長の案について、ご存知ですか。(は1つ)

1	知っている	42.0
2	知らない	58.0

問36-3 . また、この改正案では、上記の特例期限以降も出来るだけペイオフを回避するなど、新たな制度運営について定めています。あなたは、こうした案について、ご存知ですか。(は1つ)

1	知っている	27.9
2	知らない	72.1

(全員にお聞きします)

問37 . 金融の自由化などに関して、あなたのお考えはA、Bのどちらに近いですか。

(はそれぞれ1つ)

		1 どA ち に ら 近 か い と 言 え ば	2 ど 言 ち え ら な い も	3 ど B ち に ら 近 か い と 言 え ば		
					A	B
(1)	金融商品の選択の範囲が広がり、金融機関の経営も効率化されるので、さらに自由化を進めるべきだ	24.8	47.0	27.7	金融商品が複雑になるとついていけず、競争で金融機関の経営も不安定になるので、ほどほどにして欲しい	
(2)	自分で選んだ金融商品や金融機関については、自分で責任を持つのは当然だ	30.9	39.8	28.9	自分で選んだ金融商品や金融機関だから自分で責任を持って、と言われても困る	
(3)	金融機関は、公共的な役割をもった特殊な存在である	26.0	40.4	33.1	金融機関も一般の企業と同じで、特殊な存在ではない	

(全員にお聞きします)

最後に、あなたご自身のことやお宅のことについておうかがいします。
〔 立ち入ったことも含まれていますが、調査結果を分析するために使いますので、さしつかえなければお答えください。 〕

F 1 . あなたの性別は。

1	2
男	女
50.1	49.9

F 2 . あなたの年齢は。(満年齢でお答えください。)

1	2	3	4	5	6
20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
13.4	15.1	19.9	21.6	18.5	11.5

F 3 . 結婚していらっしゃいますか。

1	2	3
既婚 (配偶者あり)	既婚 (配偶者と離別・死別)	未婚
76.1	8.2	15.6

F 4 . あなたのご職業は。パート勤めの方は勤労者としてお答えください。(は1つ)

自 営 業 家 族 従 業 者	1 農林漁業	3.7	勤 労 者	4 管理職	5.9	無 職 者	10 専業主婦	12.6
	2 商工・サービス業	9.6		5 専門技術職・教員	8.8		11 学生	1.4
	3 自由業	3.1		6 事務職	9.4		12 年金・恩給生活者	14.4
				7 労務職	10.3		13 その他無職	3.5
				8 販売・サービス職	7.4			
16.4			51.6	9 パート勤め	9.8			
								31.9

(F 4 で 1 ～ 10 と答えた方にお聞きします)

F 4-1 . あなたのお仕事あるいは勤め先の業種は何ですか。パート勤めの方は、お宅の中で主として生計を支えていらっしゃる方の業種について、専業主婦の方は、ご主人の勤め先の業種についてお答えください。

1 農林漁業	7.1	6 金融・保険業	3.6
2 製造業	22.7	7 電気・ガス・水道業	2.5
3 卸・小売業、飲食店	14.2	8 サービス業	22.0
4 運輸・通信業	5.4	9 公務員	8.5
5 建設・不動産業	11.1	10 その他 (具体的に)	2.3

(全員にお聞きします)

F 5 . 主としてお宅の生計を支えていらっしゃるのはあなたですか。

(夫婦で同じ程度という場合などは、「1 はい」にをつけてください。)

1	2
はい	いいえ
55.2	44.7

F 6 . あなた(および配偶者)の昨年1年間の収入(税込み)は、次のどの区分に入りますか。

(ただし、退職金や土地の売却代金など一時的な収入は除いてください。)(は1つ)

1 収入はない	4.9	4 1,000万円~1,500万円未満	5.4
2 500万円未満	56.1	5 1,500万円以上	2.0
3 500万円~1,000万円未満	29.4		

F 7 . あなた(および配偶者)は収入(生活費)をどのようなかたちで得ていますか。

以下から、あてはまるものをお選びください。(はいいくつでも)

1 給料(賃金)	70.2	6 株式などの配当や運用益	1.8
2 事業からの収益	10.2	7 預金など貯蓄の取り崩し	5.6
3 アパートなどの不動産からの賃貸料	4.2	8 家族や国などからの援助	3.2
4 年金	26.2	9 その他(具体的に)	0.5
5 利子収入	2.0	10 収入はない	1.4

(F 8 へ進む)

(F 7 で 1 ~ 9 のいずれかを答えた方にお聞きします)

F 7-1 . 前問で、あなたが おつけになったものの中で、最も金額の多いものを1つ選んでください。

(は1つ)

1 給料(賃金)	66.3	6 株式などの配当や運用益	0.1
2 事業からの収益	8.1	7 預金など貯蓄の取り崩し	1.3
3 アパートなどの不動産からの賃貸料	1.8	8 家族や国などからの援助	1.6
4 年金	20.4	9 その他(具体的に)	0.3
5 利子収入	0.1		

(全員にお聞きします)

F 8 . あなた(および配偶者)の貯蓄残高は、次のどの区分に入りますか。事業目的のものを除いた預貯金、信託、保険、株式、債券、投信などの合計額でお答えください。なお、生命保険、損害保険、共済については掛け捨て型のものを除いてお答えください。(は1つ)

1 貯蓄はない	18.3	4 1,000万円~2,000万円未満	10.2
2 500万円未満	41.6	5 2,000万円以上	9.0
3 500万円~1,000万円未満	16.7		

F 9 . あなた(および配偶者)の借入残高は、次のどの区分に入りますか。(は1つ)

(注)クレジットカードを利用しての買い物や事業目的の借入れは除きます。

1 借入金はない	61.0	4 1,000万円~2,000万円未満	7.3
2 500万円未満	16.8	5 2,000万円~5,000万円未満	5.2
3 500万円~1,000万円未満	6.3	6 5,000万円以上	0.8

F 10 . 現在一緒に住んでいるご家族の構成は。(は1つ)

1	1人住まい世帯	6.1	4	親と子と孫の3世代世帯	17.3
2	夫婦だけ世帯	24.9	5	その他(具体的に)	1.6
3	親と子の2世代世帯	50.0			

(F 10で 3 または 4 と答えた方にお聞きします)

F 10-1 . 世帯の中であなたが位置する世代は。(は1つ)

1	2	3
親世代	子世代	孫世代
57.8	39.1	3.1

(全員にお聞きします)

F 11 . あなた(またはご家族)のお住まいは次のどれにあたりますか。複数ある場合は、あなた自身が生活の拠点としているお住まいについてお答えください。(は1つ)

1	土地付き持ち家	70.9	4	借家	7.1
2	持ち家のマンション	3.4	5	賃貸マンション・アパート	11.5
3	借地持ち家	4.3	6	社宅、官舎、寮	2.7

F 12 . あなたは、マスコミの金融、株式に関する報道を熱心に見るほうですか。(は1つ)

1	2	3
熱心に見る	あまり見ない	まったく見ない
22.6	62.6	14.8